

科目別キーワード集 利用の手引き

- ・本キーワード集は、大学で心理学を学んだ成果を評価する基準という観点から設定されています。
- ・心理学検定で認定された級が心理学系大学院の入学試験選考資料となることも想定して項目を選択しています。
- ・このファイルには、科目ごとのキーワードを専門用語と人名を分けて記載しています。
- ・心理学検定は各科目 20 問の出題なので、回ごとに見れば出題されない項目の方が圧倒的に多くなります。他方、各種の心理学辞典に比べると項目数をかなり絞っているため、本キーワード集にない項目に関わる問題が出題される可能性もあります。
- ・本キーワード集に含まれるすべての項目は、[『心理学検定 専門用語 & 人名辞典』](#) (2023 年 6 月 14 日刊行予定)で解説されています。
- ・上記以外にも、[公式問題集](#)や[推薦書籍](#)などを活用して系統的に学んでください。

事項

● アルファベット

CHC理論
F分布
G-P分析
KABC-II
SD法
t検定
t分布
WAIS-IV
WISC-V
WPPSI-III

● ア行

アルファ係数（ α 係数）
アンダーアチーバー／オーバーアチーバー
一対比較法
一般線形モデル
因子抽出
因子負荷量
○ 因子分析
ウェーバーの法則
ウェクスラー式知能検査
ウェルチの検定
内田クレペリン精神作業検査

● カ行

絵画欲求不満テスト（P-Fスタディ）
回帰係数／切片
回帰効果（平均への回帰）
回帰式
カイ二乗検定（ χ^2 検定）
カイ二乗分布（ χ^2 分布）
階層的重回帰分析
○ 確率分布
確率変数
間隔尺度
頑健性
間接効果
棄却域／臨界値
疑似相関
基準関連妥当性
帰無仮説／対立仮説
逆転項目
級内相関係数
共通性／独自性
共分散
○ 共分散構造分析（構造方程式モデリング、SEM）
共分散分析
虚偽尺度
クラスター分析
クラメールの連関係数
クロス集計表（クロス表）
決定係数（分散説明率）
検定統計量
検定力（検出力）
効果量
交互作用

構成概念妥当性
項目反応理論
項目分析
個人内評価
古典的テスト理論
固有値
コレスポンデンス分析

● サ行

再検査信頼性
最小二乗法
再テスト法
最頻値（モード）
○ 作業検査法
参加者内要因／参加者間要因
残差分析
散布図
サンプルサイズ
自己評価／他者評価
実験計画法
実験参加者内計画／実験参加者間計画
質的変数
○ 質問紙法
四分位数
尺度水準
集団準拠評価
自由度
主観確率
主効果
主成分分析
主題統覚検査（TAT）
順位相関係数
順序尺度
剰余変数
○ 診断的評価／形成的評価／総括的評価
信頼区間
信頼性／妥当性
数量化理論（I～IV類）
スティーヴンスの法則
正規分布
精神年齢
絶対評価／相対評価
潜在変数
全数調査／標本調査
相関
相関係数の希薄化

● タ行

第1種の誤り／第2種の誤り
対応の有無
○ 代表値／散布度
多重共線性
多重比較
田中ビネー知能検査
多母集団同時分析
単回帰分析／重回帰分析
探索的因子分析／確認的因子分析
単純主効果

- 知能検査
- 知能指数 (IQ)
 - 中央値 (メジアン/メディアン)
 - 中心極限定理
 - 直交解/斜交解
 - 適合度指標
 - テキストマイニング
- 適性処遇交互作用 (ATI)
 - テストの標準化
- 点推定/区間推定
- 投影法 (投映法)
 - 統計的検定
 - 等分散性 (分散の等質性)
 - 独立変数/従属変数 (説明変数/目的変数)
- 度数分布

● ナ行

- 内的整合性
- 内容的妥当性
- 二項分布

● ハ行

- 媒介効果/調整効果
- 媒介分析
- バウムテスト
- 箱ひげ図
- パス解析
- 外れ値
- パフォーマンス評価
- パラメトリック検定/ノンパラメトリック検定
 - バリマックス回転/プロマックス回転
 - 範囲 (レンジ)
 - 判別分析
 - ピアソンの積率相関係数
 - ヒストグラム
 - ビネー式知能検査
- 描画法
 - 標準誤差
 - 標準正規分布
 - 標準得点
 - 標準偏回帰係数
 - 標準偏差 (SD)
 - 標本 (サンプル) / 標本抽出 (サンプリング)
 - 標本統計量
 - 標本分散/不偏分散
- 標本分布
 - 比率尺度 (比尺度, 比例尺度)
 - フィッシャーの正確確率検定 (直接確率検定)
 - フェヒナーの法則
 - 部分相関係数
 - 分散
- 分散分析
 - 文章完成法 (SCT)
 - 平均値
 - ベイズ統計
 - 併存的妥当性/予測的妥当性
 - 平方和/平均平方
 - 偏差IQ/偏差知能指数 (DIQ)

- 偏差値
- 偏相関係数
- 母集団/標本 (サンプル)
- 母数 (母集団のパラメータ)

● マ行

- マグニチュード推定法
- マルチレベル分析
- ミネソタ多面人格目録 (MMPI)
- 名義尺度
- メタ分析
 - 目標標準評価

● ヤ行

- 矢田部ギルフォード性格検査 (YG性格検査)
- 有意水準 (有意確率)
- 尤度/最尤推定法 (最尤法)
- 床効果/天井効果
- 要約統計量 (記述統計量)

● ラ行

- 離散変数
- リッカート尺度法
- 両側検定/片側検定
- 量的変数
- ループリック
- 連関
- 連続変数
- ロールシャッハテスト
- ロジスティック回帰分析

人名

● ア行

- ウェーバー (Weber, E. H.)
- ウェクスラー (Wechsler, D.)

● カ行

- カウフマン (Kaufman, A. S.)
- キャッテル (Cattell, R. B.)
- キャンベル (Campbell, D. T.)
- ギルフォード (Guilford, J. P.)
- クレペリン (Kraepelin, E.)
- クロンバック (Cronbach, L. J.)
- ゴセット (Gosset, W. S.) / スチューデント

● サ行

- サーストーン (Thurstone, L. L.)
- スティーヴンス (Stevens, S. S.)
- スピアマン (Spearman, C. E.)

● ハ行

- ピアソン (Pearson, K.)
- ビネー (Binet, A.)
- フィッシャー (Fisher, R. A.)

● マ行

- マレー (Murray, H. A.)

● ラ行

リッカート (Likert, R.)

ルリア (Luria, A. R.)